



Subaru

男声合唱団

ニュース№558

'16. 5. 9

5月6日

「白樺」(合発参加曲)・「わしらの朝は海から・・」 (合発参加曲・最重点曲)の練習に熱が入る!

□5月6日(金)18:00~20:30「昴」定例レッスンが行われました。奥村さんの体操のあと伊藤副指揮者のヴォイストレーニングが、前回4月29日(金)の吉田亜矢子声楽教室で学んだ発声練習を復習する形で入念に行われました。「昴ニュース557号」の「吉田亜矢子先生の特別レッスン開催」の記事と「□「白樺」で具体的なレッスンをして頂きました。」の「レッスンメモ」に基づいて、フレーズごとに詳細に「白樺」をレッスンしました。休憩をはさんで本並先生の指揮で「わしらの朝は海からはじまる」を最後まで歌い切りました。ピアノ伴奏は森二三さん。参加者は全37名でした。



□本並先生から、今回の吉田声楽教室について以下のようなコメントがありました。(編集子記)

「吉田亜矢子先生の指導について、吉田先生はプロだから訓練しておられる。曲目でどの子音が大事かはすぐわかる。母音の発声の仕方は富樫さんの指導を我々は受けている。そしてそこにアーティキュレーション(曲想の表現)を加えることをされる。吉田先生の言っておられることは特別なことではない。各自が吉田先生や指揮者の指摘したことを自分の“血肉化”してほしい。一つの歌はレッスンと共にどんどん進んでいく。自分でコツコツやりながら(自分の中に取り込んで)サッとここまでやれるというふうにやっていこう!「白樺」は11月までお付き合いしてもらうから、この「白樺」の1口レッスンメモは「座右の銘」として常備してほしい。」



○連絡事項・お知らせ等

(1) 憲法こわすな! 戦争法を廃止へ! 5・3おおさか続がかり集会

5月3日(火)の憲法記念日 扇町公園

大阪のうたごえ協議会から、約110名がオープニングとパレードの送り出しで壇上に上り平和のうたごえを響かせました。昂からは11名が参加しました。(立川、大橋、鈴木、若園、奥村、伊藤、仲谷、米川、岩崎、岡邑、山本宏) 1時開会、パレードは中崎町コースに参加、4時少し前に解散地点に到着しました。集会には2万人が参加との報告がありました。(メーデーは8000人)この種の集会で昂から11名も参加したのは初めてです。



(2) 技術部会からのお知らせ

中村聖保講師による昂団員を対象とした声楽教室は、月に2回開催できることになりました。

①毎月第一月曜日の午後3～5時、ねむかホールにて、受講生 T1=2名、T2=1名、BR=1名。

②第一金曜日の午後 13:45～15:45、ねむかホールにて、T1=3名、BR=2名、BS=1名。

中村聖保さんを講師に迎えて実施する声楽教室、受講のご希望をいたいたいた方は12名おられました。当初、月に1回の予定でしたが希望者が多いため、月に2回お願いすることになり、結果10名の方が6月から受講する(1名は辞退されました)ことになります。せっかくご希望を出していただきながら、1名の方には残念ながら別の機会を待っていただることになります。尚、声楽教室をどのようにすすめていくか?いろいろと決めねばならないことがあります。今後技術部会・運営委員会で検討し、中村先生ともご相談の上、受講生同士の意思疎通をしっかりと、受講生にとって有益な声楽教室になるよう努力しましょう。

(3) 「藤後さんの戦争体験をお聞きし 米寿をお祝いする会」のご案内

5月15日(日)

「第1部 戦争体験を聞く」 15:30～ ねむかホール

約1時間にまとめてお話ししていただきます。その後質問に答えていただきます。

「第2部 米寿を祝う会」 17:00～頃から 興隆園 こちらは会費3,000円です。

(4) 5月15日(日)の定例レッスンの時間変更について

①レッスン開始時間：13:00からとします。(～15:00終了)

②運営委員会は10:00～開催します。

(5) 「うたごえ新聞」と季刊「日本のうたごえ」の購読の勧めが「うたごえ新聞」担当委員の若園さんからありました。

「うたごえ新聞」今週号に「創立60周年記念レセプション開催」の記事が載っています。うたごえの初期から活動してこられたかたがたの活動状況が報告されています。また季刊『日本のうたごえ』総会特集号には、昂から岡邑・立川さんが文章参加の形で報告された模様が掲載されています。

「わしらの朝は海からはじまる」一口レッスンメモ (2016・5・6レッスン)

BS・BR 1小節～16小節

・「ヨーシドット」を何度も繰り返し歌って覚えてほしい。のどを筒にして、ファゴットをイメージして、”私は歌わなくても・・”と思わず、一人一人が責任をもって声を合わせていこう！

・「ヨーシドット」の歌い方：「ヨー」「シ」「ドッ」「トゥ」と4つの音に”重い・軽い”がある。
掛け声の調子を統一しよう。

・BS・BR 14小節～「わしらのうみがあるー」

BS・BR：「ヨー」少し長いめに「ヨオ」と出して、「わしらの」に続く。

「わしらの」の「わ」はしっかりした声で。「の」はあごが上へ。

「うみがあるー」の「あるー」長さしっかりと十分保って。

BSとBRでしっかりハモってほしい。

BS14小節～「わしらのうみがあるー」：BSかっこいいところ！しっかり声を出して！

T1・T2 1小節～16小節

T1・T2 「おおーい おーい おーい」

3つ目の「おーい」は「おおおい」と心で拍子を刻んで。同じ明るさで、続けて切らないで一気に歌ってほしい。

T1 「わしのむねをたたいてくれ」：どの詞に重みを置くか？「わし」「むね」「たたいて」「くれ」

T2 「しおなりーが」：少しやわらかに(レガート気味に)「し お な り」と1句1句切って歌わない。

「T1 「うみなりがー」：母音同じ口で出して、子音を乗せて・・

T1 T2 「うしないたくないーふるさとーー」：しっかりと言葉を出す。「うし」「ない」「たく」「な」
「いー」「ふるさとーー」

「おおー ここには わしらの一」：しっかり出して！「わしらの一」で延ばして、切らないで「うみがあるーー」へ。「うみ」に向かって、「うみ」をはっきり出す。

17小節～22小節

B S：主旋律「くらいおもいそらに ～ 生きてきたー」メリハリつけてことば（せりふ）あわせよう！（しっかりとしたことばで！自信をもって歌おう！）

T1・T2・BR：“Wu —” B Sの歌詞に合わせて音を出す。B Sを引き立てるように！

22小節～30小節「わしらのあさはー わしらのうみへ」

T1・T2・BR・B S：「わしらのあさは」晴れ晴れとした気分で！fで明るく！

「あさはー」：地声の「あさ」は駄目！タテに“あ”“さ”を出す。「たいようよりもー」の「た」もタテに口を開けて！

31小節～38小節

BR主旋律：「しおかぜをきってゆけばー」：男らしく！響く声でしっかり出せ！

「ひきあげるーう-おは うみからあがるーう-おは」：「う-お」低いがしっかり響かせて！
はっきり歌おう！

54小節～61小節

T2・B S「ふかいうみのそこからーーふーかーいーうーみーかーらーうーおーの一わくーうーみーーーのーそこーかーーらーーー」： オブリガードで

53小節～61小節

T1・BR「ふかーいーうーみーーーふかいーーうみのそこーからーうおの一ーわくーうーみーーーのーそこーかーーらーーー」：しっかりと音をとって、慌てずにテンポを確保する。

65小節：「おおーーーー」

最後 f f で大きく！ 最初の「お」8分音符少し長めに「おお」を！ 2つめの「おー」もしっかり立ち上げる！

最後に

うまく歌えばこの歌は”化ける！” “のでは。「鼎」にとって今までにない感じの歌になる可能性大！
歌っていこう！！